

意匠の魅力伝える24の笑顔

委員長の平林です。
意匠委員会は、写真の笑顔から伝わるように魅力的なメンバーが集まり、皆さん生き生きと精力的に活動を推進しています！
そんな魅力的なメンバーを支えられて、私は委員長と会社業務と子育てを両立しています！



Q: 意匠委員会に参加して良かったこと
「一緒」に「意匠」を語る
「一生」の仲間ができる！



Q: 意匠の魅力/好きなところ
デザイナーが創作した新しいデザインに触れることができ、権利化をがんばって新製品として世に送り出したい！気持ちになる。



Q: 意匠について一言したい
権利範囲が分かりにくいので、ほんとに奥が深いですね。



Q: 意匠委員会に参加して良かったこと
日本の特許庁だけではなく、海外の特許庁の方々とも交流する機会が持てます。



Q: 意匠の魅力/好きなところ
主要業務が特許担当者の視点からすると、特許では必ずしも守れない特徴的な形状・画像を、意匠ではフォローでき得る場合があることが意匠のメリット。



Q: 意匠委員会に参加して良かったこと
社内ではなかなか相談することができない意匠実務の悩みについて、気軽に相談できます！



Q: 意匠の魅力/好きなところ
自分が仕事で関連したデザインを街中で見られるので、楽しいです。



Q: 意匠について一言したい
製品等の「見た目の保護」を実現する制度で実は活用幅が広いと思います！



Q: 意匠委員会に参加して良かったこと
普段はなかなか聞けない、意匠のベテランの方々の意見を聞くことができる

Q: 意匠について一言したい
「デザイン」の価値や価格が変遷する時代のなかで、意匠によって創作をどのように護ってゆけるのか？を考えてゆきたいです。

Q: 意匠について一言したい
グローバルでブランド力を高めるために、意匠権をもっと活躍できます。



Q: 意匠について一言したい
意匠の権利範囲って奥深くて難しい、そんなこと知らずに意匠調査を薦ろにしている人はいませんか？実は過去の私がそうでした。同様の人を減らして意匠の奥深さを知ってもらうとともに、意匠の魅力をもっと広まれば良いと考えます！

Q: 意匠の魅力/好きなところ
日々、美しいものに触れられ心が豊かになる！



Q: 意匠について一言したい
Empower design patent !!

Q: 意匠の魅力/好きなところ
背景にあるストーリーやデザイナーの思いの一部を意匠を通じて感じることができるところ。



Q: 意匠委員会に参加して良かったこと
意匠の困り事や傾向等を他社の方に相談・情報交換を行うことができ、社内視点では出てこなかった意見や視点に気がつくことができる。コロナ世代入社で人との交流・自社内での交流さえ殆どなかった状態のため、他社の方と交流できる場は大変貴重でありがたい機会。色んな会社さんを訪問することができるのでわくわくする。



Q: 意匠の魅力/好きなところ
特許と異なる権利範囲のため脳の体操になる。特許請求項よりも権利範囲が曖昧なもまた面白い。



Q: 意匠委員会に参加して良かったこと
意匠のみに特化した、議論ができる場所。

Q: 意匠について一言したい
意匠（デザイン）は人々の生活における快適、豊かさといった社会価値の創出を支えている。

Q: 意匠について一言したい
世界は「意匠」でできている。



Q: 意匠について一言したい
研究が進められた意匠権は時に特許権を助けます！是非、ご活用を！
日本の意匠出願を盛り上げましょう！



Q: 意匠の魅力/好きなところ
公表前の製品デザインを知れる広告宣伝だけでは伝わりきれないデザイナーの想い・創意工夫を知れる



第1小委員会活動

世界でデザインを守る



各国知財庁やWIPOへ日本のユーザー代表として意見発信を行っています。

第2小委員会活動

中国において部分意匠でデザインを守る

中国における部分意匠制度

基準が明確になっていないため、各社対応に苦慮している

2021年6月 権利法改正 -部分意匠導入	2021-2022年 審査基準改正案の提示	2023年1月 審査基準正式改定なく、 部分意匠の審査開始
-----------------------------	--------------------------	-------------------------------------

中国部分意匠の拒絶状況分析

審査実績がある企業18社では、拒絶率が約92%



中国の部分意匠出願について、今年開始された審査に関する現状と課題を研究しています。

第3小委員会活動

意匠権を身近にする実務スキルを身に着ける



希望の意匠を見つけられるように



意匠権の権利範囲をわかるように

意匠の調査手法や類似範囲を理解する手法を検討しています。また、その他、国内制度に関する意見・発信もしています。